



## 鯉のぼりのお話

鯉は古くから立身出世の象徴とされてきました。中国の故事、伝説から「黄河の上流にある龍門の急流をさかのぼることができた鯉は、龍になって天をかける」と言われ、出世のたとえに用いられるようになりました。日本において鯉が縁起物にされたのは、江戸時代中期とされています。五色の吹き流しは幼子の無事な成長を願って「魔除け」の意味で飾られるようになりました。

参照

～こいのぼりと五色の吹き流しの話～



## 廃材の回収のご協力

### ありがとうございます

廃材のご協力ありがとうございます。ご家庭より様々なものが届いております。クラスのコーナーあそびや、異年齢でのあそびの中で使わせてもらっています。保護者の方も面白そうな廃材があると、「これあそびに使えるかも」と、持ってきていただき、子どもたちのあそびを思い浮かべながら、協力していただいていることに、感謝しています。廃材は切ったり貼ったり物を作ったり、失敗しても何度でも気兼ねなく使えます。量もたっぷりあり、子どものあそびには、最適な保育材料です。今後ともご協力お願いします。



## 令和4年度 5月の園だより



くまの・みらい保育園

### 乳児期には子どもが何か求めている時には 求めているだけ愛情を

園庭ではこいのぼりが気持ちよさそうに泳いでいます。入園、進級し1か月がたちました。涙が出ていたお友だちも少しずつ保育園に慣れ、好きなあそびを見つけて遊べるようになってきています。コロナの感染者も減ったり増えたりを繰り返し、ウイルスも姿形を変えてくるので、収束するにはしばらくかかりそうです。今年度もコロナと共生しながら、行事も工夫をこらして行っていきたいと思います。なかなか計画通りにいかないこともありますが、ご協力のほど、よろしく申し上げます。

今年度のくまの・みらい保育園のテーマは、「室内でも園庭でもわくわくどきどき、なにしてあそぼう」です。子どもたちの様子を見ながら、様々な仕掛けをして、子どもたちが自分で考えたり、工夫する場面を応援していきたくと思っています。

園庭では今、幼児クラスのお友だちは雲梯、鉄棒、登り棒、縄跳びやフープなど毎日のように取り組む姿が見られます。くまの・みらい保育園は、園庭の環境にも恵まれ、体を動かすことが十分でき、運動が大好きな子が多いです。手に豆を作りながら「さいごまでいけたよ」と雲梯への挑戦を喜ぶ黄組さん。「1ぼんぬかしてわたれたんだ。」という白組さん。フープも「2本でまわせたよ！」とか、今までできたことのさらなる上への挑戦の姿が見られます。子どもたちはできると、もっと難しい技を挑戦するのです。「せんせいみててよ！」と何回も見せてくれます。「すごいね、できたできた！」と拍手すると喜びはさらに倍増するようです。「このみててよ。」が保育者だけでなく、保護者の皆さんにも見てもらいたいようで、夕方お迎えの時もお母さんを園庭までさそって、逆上がりを見せたり、雲梯を見せる

姿が見られます。お母さんも忙しい中、お子さんに付き合い、「すごいね、このあいだよりじょうずになったね。」とほめておられますが、これこそ大事なかわりだと思えます。その反面、子どもが「抱っこして〜。」と言っているのに抱っこしてあげない保護者の姿も見かけます。

乳幼児期からしっかりかわいがられ、何かを求めている時に求めているだけ、思いを受け止めて応答的にかかわってあげていれば、大人に対する信頼感や安心感を持ち、自己肯定感が育まれ、普通の愛情で満足できる子になります。しかし、そこを十分に満たしてあげないと、常に求めるようになり、人の何倍も愛情を注がないといけなくなります。愛情を求めている時に抱っこしてあげたり欲求を満たしてあげるのが早く落ち着き、自分のやりたいことにも集中できる子になるのです。

私たち保育者も子どもたちにはたっぷりの愛情でかかわっていきますが、保護者の方の愛情にはかきません。保育園では子どもたちが主体的に物事に取り組むよう、環境作りを行い、子どもの思いに寄り添った保育をしていきます。ご家庭でも、子どもが求めている時にはしっかり寄り添い、愛情を注いで応えてあげてください。もちろんいけないことをした時には、「それは困るな。」「お母さんはこうして欲しいな。」とお母さんの思いを伝えることも大切です。もし子育てで悩まれるようなことがありましたら、いつでも相談してください。一緒に子どものことについて話し合い、関わり方を考えていきましょう。毎日子どもたちがわくわくして保育園に来てくれるよう、楽しい環境を準備してお待ちしています。

くまの・みらい保育園 園長



### 「主体的なみらいっ子」 さや豆・スナップエンドウを、収穫しました

年長さんが豆を収穫して、筋も取ってくれましたよ。お昼の給食に間に合うように、給食先生がゆでてくださいました。と〜ってもおいしかったようです。

収穫したい！お手伝いする！  
「すじはこうやってとるの？」



やってみたくと思ったことはどんどん  
じょうずになっていきます

#### <しっぽとり>



「せんせいのしっぽとるぞ〜！」とにかく走りたい、疲れしらずの子どもたちです。

#### <うんてい>



「むこうまでわたりたい！」  
毎日のように練習しています。

#### <ビオトープ作り>



子どもたちのやりたい気持ちは、自分で挑戦したり、お友だちと話し合いながら、どんどん行動に移っていきます。

みんなで協力して大きな池づくりをしています。「もっとほったらんじゃない？」など相談しながら、水も慎重に入れていました。「ここに生き物いれられるかな？」